

総合政策学専攻【博士前期（修士）課程】

時 期	項 目	内 容・目的等
1 年 次	4月	研究科主催ガイダンス ●研究科長・専攻長による大学院での学修に関する基本的事項の説明（1時間程度）
		研究構想報告会 ●上記ガイダンスの後、研究構想報告会に参加
	10月	研究構想報告会 ●研究構想報告会に参加
2 年 次	4月	研究構想報告会 ●「研究構想報告」を必ず行う
	9月	修士論文指導アドバイザー決定 ●指導教員とは別に修士論文の指導を行うアドバイザー1名を専攻委員会で決定
	10月	研究構想報告会 ●「研究構想報告」を必ず行う
	10月～12月	インフォーマルセミナー参加 ●インフォーマルセミナーに参加し、「研究報告」を必ず行う
	1月	修士論文提出 ●指導教員の了解を得て、期限内に修士論文を大学院事務課に提出 ●専攻委員会で主査（指導教員）1名および副査2名を決定
	2月	最終審査 ●主査および副査2名による口頭試問を含む最終試験を実施 ・最終試験は、修士論文の目的・背景・成果について発表し、評価を受ける。 発表20分、質疑等20分とする ・最終試験の評価40点（要24点以上）、修士論文の評価60点として評価し、合計60点以上を合格とする
3月	可否決定 ●専攻委員会および研究科委員会において審査報告、審議決定	

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある

総合政策学専攻【博士後期課程】

時 期	項 目	内 容・目的等
入学前 (入学試験時)		●面接試験（指導志望教員＋2名）により研究希望領域および研究計画を確認 ●専攻委員会および研究科委員会にて入学試験可否と指導教員決定 ●必要に応じて副指導教員を決定
1 ・ 2 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス ●研究科長・専攻長による学習に関する基本的事項の説明
		研究計画の確認と履修指導 ●指導教員による研究計画の確認 ●指導教員による研究計画にしたがった個別履修指導（履修相談）
	(1～3年次) 指導教員および副指導教員の演習科目履修	●博士後期課程3年間にわたり指導教員の演習科目履修 ・研究計画の確認と修正 ・教員指導の下で計画に基づく研究の開始 ・博士論文の執筆方法等の確認 ・学会発表や学術雑誌投稿に関する指導
5月上旬 10月上旬	研究構想発表会	●前期課程の学生も含めた研究構想発表会で報告 ・研究構想へのアドバイスを心得て構想・計画の確認と見直し
3 年 次	4月上旬	研究計画の確認 ●指導教員による博士論文の構成等確認
	5月上旬	博士論文構成等発表会 ●博士論文の構成等を発表し、専攻教員のコメントを得る
	5月～11月	指導教員演習科目履修 ●博士論文の作成 ●研究計画に基づく研究の継続 ・国際的あるいは全国的学会での発表 ・学術論文の執筆と投稿
	12月	博士学位請求論文の提出 ●学位論文の提出（学位授与申請） ●12月専攻委員会・研究科委員会 ・専攻委員会・研究科委員会にて学位授与申請の承認 ●学位審査委員会を組織（指導教員を主査とし、副査2名の計3名）
	12月中旬 ～2月	博士学位請求論文の審査 ●博士論文の審査 ●1月末～2月初旬：博士論文の内容、関連する学識その他に関する口頭試問の実施 ●2月専攻委員会・研究科委員会 ・学位審査委員会は審査結果を「学位審査委報告書」として専攻委員会さらに研究科委員会に提出し、研究科委員会が最終的に審議決定する

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある